

「平成24年度 気になる子どもの保育研修会」報告書

【期 日】 平成24年11月6日（火）

【会 場】 アバンセホール

【主 催】 佐賀県保育会

【参加者数】 111名

【内 容】

研修1 「基調報告」 講師 佐賀県保育会会长 田中豊博氏

＜保育制度の修正システムについて＞

1. 子育て関連修正法案は、最終段階で自民党、民主党、公明党、3党首会談を経て可決されました。子ども子育て新システム（幼保一体化、直接契約、指定制株式会社参入）構想は崩壊しました。政府内では認定こども園制度を総合こども園制度に近づけようしたり、施設整備費をカットしようとする動きもある。

2. 民間保育所の運営費の一般財源化及び、保育所と認定こども園、施設型給付と地域型保育給付制度の創設等について、佐賀県保育会では、今後とも危機感を持ちつつ、臨機応変な対応が出来るような活動に取り組んでいきたい。

研修2 「気になる子どもの保育～思春期を見通した保育～」

講師 帆足 晓子 先生

＜思春期の子どもの育ち＞

先進国に住む子どもの幸福度国際比較（15歳時点ユネセフ2007）「自分は孤独だ」「自分は不器用で居場所がない」と感じている子どもが多い。つまり、安心して育っていないという事。若年層（15～34歳）の自殺が多く、日本人全体では毎年3万人以上が自殺をしている。保育所は、小学校へ上がる前の子どもと関わっている。気になる子どもをそのまま小学校へ上げるのではなく、早い段階で問題を整理し関わって欲しい。いかに乳幼児期が大切であるかという自覚を持って欲しい。小さい時から愛情のある言葉かけ、やさしい言葉かけをすると成長ホルモンの分泌が活発になる。

※ 現在の育ちの課題～第4の発達障害～ ネグレクト

親の成育歴が影響した間違った育児情報における判断基準のなさによる、無意識な行動等により、結果としてネグレクトになってしまう。（衣類ネグレクト・

衛生ネグレクト・情緒ネグレクト・医療ネグレクト・教育ネグレクト・環境ネグレクト）

※ 乳幼児期に大切にしたいポイント

子ども自身が愛されている安心感（親や保育者から）→情緒の安定

※ 子ども時代に大切にされた体験は生きる力を支える

大人から守られていた 愛されていた事は、その人に残っている。信頼のおける人が自らの背後に1人以上いると確信がある時に最も幸福であり、能力を最大限発揮できる。

研修3 「子どもの発達を捉えた保育とは」 講師 帆足 晓子 先生

<乳幼児の発達と保育>

保育は乳幼児の発達に則して行われることが必要である。しかし、発達段階に合わせて保育するとか、年齢別の発達基準や到達度を決めて、そこまで引き上げるという事を意味しているわけではない。停滞したり、飛躍したりしながら進んでいくものであり、一直線に進んでいくとは限らない。具体的な状況の中で壁にぶつかったり、葛藤体験をもったりしながら、子ども自身がもつれた糸をほどいていく事が重要なのである。

保育とは子どもが糸をほどいていくのを援助する事でもある。幼児一人一人の特性に応じ、発達の課題に則した指導を行うようになることが大切である。

※ 保育アセスメント — 今の子どもの発達段階、能力、性格適応、行動パターン等、子どもの健康な部分も含め、子どもを取り巻く環境等を総合的に捉える。

※ 子どもアセスメントの留意点 — 表情や問題行動の捉え方

※ 子どもの発達を捉えるアセスメント — 運動発達、生活リズム、社会性の発達、言葉の発達、遊びの発達

※ 子どものサインの受け止め方

- 不安、攻撃性が強い = 愛されている実感がもてない。
- 自分勝手な行動が多い = 気持ちが通じ合う嬉しさと安心感がない。
- ありのままの自分を認めない = 自己イメージへの執着。
- 不安・パニックになる = 思い通りにならない事への不安。
- 失敗を恐れる・参加しない = 自信がない。

※ 子どものサインの読み取り方

(発達の過程、状況の把握、成育暦、対応、保護者との共有場面の状況確認、子どもの理由、これまでの経過破格、状況における問題の明確化)

※ 肯定的な記録・表現のあり方

(目的、何のために、誰のために、保育者の役割)

※ 子どものサインへの気付きのポイント

(生活リズムにおける行動、人との関係における行動、遊びにおける行動、生活における行動)

◎効果及び評価◎

発達障害のある子や、気になる子が近年増えてきているが、保護者が認識してくれない。

保育士、保育所は日々悩んでいるのが現状である。

この研修会では、子どもが発達してきた過程や心身の状態を把握し、理解する事が大切である事や、適切な支援のあり方（思春期を見通した保育の大切さ）を学ぶ事が出来た。

帆足晓子先生には保育士からの沢山の質問にも答えて頂き良かった。